

原田メソッド認定パートナー養成講座の感想

2018.5月

猪俣 真矢 子

私は、自宅にて「子育て真最中のママだって学びたい!!」をコンセプトに赤ちゃん連れOKの着物着付け教室をしています。

原田メソッドを学ぼうと思ったのは、ママさんたちが、自分の子供の話をすると急に「うちの子は...」とマイナス感情になることが気になっていたこと、点数(テスト)でしか子供を評価してあげられない自分をどうにかしたい、親が暗く迷って子育てをして子供の自己肯定感があがるわけがないという思いからでした。(私は小学2年と4年の子供がいます)

私は、この講座の全てを会場で受講することができました。講座の中で「敵は自分」「カンニングあり」「周りの人とは比べなくてよい」という原田先生の声かけが印象に残っています。隣の方と意見交換するのもやっとでしたが、3回目の頃には積極的に隣の方と話し、見せあいができ、これも、原田メソッドの「何を×どんな気持ちで」を短期間ではありますが、続けられた成果でしょう。4回目の講座内での「2のカ分析」では、「根拠のない」自信がついていました。「根拠のない」は、「見えないカ」を育てられたということかなと思っています。

原田メソッドでは、仕事面というより、私生活面、子供との接し方に多くの気づきを頂きました。子供へのストロークがいかにも少なかったかを実感させられました。

子供が産まれた頃は育児書もたくさん読みあさりしましたが「心の栄養で心のつぼを満たす」という表現が解り易く、心のつぼが枯れることで心の栄養失調が起るという所にハッと、我子に対し、申し訳ない気持ちになりました。

子供が「お母さん〇〇やって〜。〇〇持ってきた」など、私を使うことに毎日イライラし、「それくらい、自分でできるでしょ!自分でやって!!」と返していました。そしてやってあげるにしても「その行動を×怒りの気持ちで」やっていました。想像してもおそろしすぎます...。自分のことを自分でやれるのが自立と思っていたし、親は子供を自立に導かねばなら